

## 第1回京田辺市総合計画審議会議事録（要旨）

日 時 平成27年8月28日（金）午後3時～4時

場 所 京田辺市庁舎5階 議会全員協議会室

出席者 <委員>吉川委員、日下委員、青木(二)委員、中川委員、柳田委員、潮委員、中西委員、堀口委員、足立委員、山口委員、上原委員、眞鍋委員、松田委員、浦崎委員、村崎委員、西村委員、河内委員、加藤委員、畠山委員、河本委員、鈴木委員、青木(綱)委員

<市側>石井市長、鞍掛副市長、西川企画政策部長、池田企画調整室担当課長、事務局

### 1 開会

- ・市長あいさつ

### 2 委嘱状交付

- ・市長から委嘱状の交付

### 3 会長・副会長の互選

- ・会長に吉川委員、副会長に今川委員を選出
- ・会長あいさつ

### 4 諮問書の交付

- ・市長から会長へ諮問

### 5 議事

○第3次京田辺市総合計画とまち・ひと・しごと創生総合戦略について

(1)概要について

【事務局】資料に基づき説明

【委員】確認したいのですが、この審議会では、第3次京田辺市総合計画基本計画の後期の計画と、昨年から国の方で言われている地方版総合戦略・地方人口ビジョンの二つの計画を策定することとなっている。内閣府では地方版総合戦略策定にあたっては、委員構成であるとか、いくつかの条件が指摘されている。幅広い年齢層からなる住民の意見を聞くような仕組みとして、本審議会25人の委員からの多様な意見を聞いて、二つの計画を議論することになるのか。

【事務局】今回、総合計画審議会の中で総合計画まちづくりプランと併せて、地方創生総合戦略もご意見をいただく形を考えており、総合戦略策定の組織にこういうメンバーを積極的に活用した方がよいとの国の手引きに沿ったメンバー構成にさせていただいている。産官学金労言の各分野からの意見を聞く形になっておりますので、委嘱させていただいた様々な分野の

委員のみなさんのご意見をいただきたい。

【委員】この審議会が、地方版総合戦略の策定を担う組織というのであれば、委員の構成は良いと思う。ただ、幅広い年齢層の住民意見を聞く必要があるということも言われている。より若い人たちの意見もやはりどこかで集約させるようなことも必要と考える。

【事務局】市においては、様々な広報広聴機能がありますので、それらも活用しながら審議会以外の方にも広く意見を聞く機会を確保できたらと考えています。

【委員】説明の中でマニフェストという用語がありましたが、これは市長のマニフェストと想定する。このマニフェストは参考資料の施政方針ということで考えたらよいのか。

【事務局】この施政方針は、市長の3期目の就任当初のもので、単年ではなく今後の4年間を見渡した計画を盛り込んでいます。今回の計画も4年間の計画となっておりますので、これを市長のマニフェスト的に取り扱わせていただいで結構です。

## (2)策定方針について

【事務局】資料に基づき説明

【委員】まちづくりプランの策定について、議会との関係で適宜情報提供をしていくとのことですが、本計画は第3次総合計画という枠組みがある中で、いわば後期の実施計画ということなので、情報提供でもよいと思います。ただ、地方版総合戦略については、議会と執行部が車の両輪となって推進することが重要であることから、地方公共団体の議会においても、地方版総合戦略の策定段階や効果検証の段階において、十分な審議が行われることが重要と強調されている。どういう形をとるのかは私の一存では言えませんが、十分考慮して検討してやっていただきたいということは要望しておきたいと思います。

【会長】要望でいいのですね。

【委員】はい。

## (3)今後の審議予定スケジュールについて

【事務局】資料に基づき説明。次回の第2回審議会は10月16日、第3回は11月30日を予定しています。

【委員】現行計画に対する成果は出てくるのでしょうか。

【事務局】現行の基本計画の総括につきまして、第2回審議会で報告させていただく予定です。

【会長】今回は第1回目ということで、皆さまの顔合わせと、これから審議を進める総合計画まちづくりプランと地方創生総合戦略の二つの計画についての概要の整理を行ったところです。次回から本格的な審議が始まりますので、皆さまのご協力をお願いします。

## 6 閉会

- ・副市長あいさつ